

令和5年度 新潟市若者支援者養成講座修了 と 第8期新潟市ユースアドバイザー追加委嘱について

1 修了証交付の条件

次の(1)、(2)のすべてを満たした方

- (1) 「令和5年度若者支援者養成講座」全5講座出席の方
 - (2) ①課題1「受講レポート」及び②課題2「修了レポート」を提出した方
- ※今回の修了証が交付されない場合は、第8期YAへの委嘱はできません。

2 第8期新潟市ユースアドバイザー委嘱の条件

次の(1)～(3)のすべてを満たした方のうち、上記①、②のレポート及び下記③の申込書等をもとに選考を行う。*ユースアドバイザー未経験者については、居場所実習及び居場所実習感想用紙の提出状況もふまえて選考する。

- (1) 上記1の修了証を交付された方
 - (2) 委嘱時（令和6年4月1日）の年齢が20歳以上75歳以下の方
 - (3) ③「第8期新潟市ユースアドバイザー委嘱希望申込書」を提出した方
- ※注：現職と兼務可能かどうかは各職場にご確認ください。

3 講座後の予定

(1) 提出物

期日	受講者より提出	課より発送
実習後1週間以内	居場所実習感想用紙	
11月2日(木)	課題1 受講レポート 全員	
11月10日(金)	課題2 修了レポート 該当者	
11月17日(金)		修了証
12月1日(金)	ユースアドバイザー-委嘱希望申込書	
12月22日(金)		委嘱可否通知 ユースアドバイザー-応諾書 勤務可能コマ調査 口座振込書
1月19日(金)	ユースアドバイザー-応諾書 勤務可能コマ調査 口座振込書	

(2) 委嘱式

- 期 日：令和6年2月14日(水) 18:30～19:30 (受付18:00～)
- 参加者：第8期新潟市ユースアドバイザーに追加委嘱される方
- 会 場：万代市民会館 4階 大研修室
- 日 程：18:30 委嘱式
18:45 オールについて、ユースアドバイザーについて
19:15 質疑応答

(3) 新人研修会

- 期 日：令和6年3月6日（水）18:30～20:30
- 参加者：初めてユースアドバイザーに委嘱された方
- 会 場：新潟市万代市民会館 4階 大研修室
- 内 容：居場所勤務について（居場所での支援の実際・若者とのかかわり方）
支援事業について（支援事業でのYAの役割・若者とのかかわり方）

参考 令和5年度のYAの報酬・勤務・研修等の状況について

(1) 報酬

①居場所

- ・午前と午後の勤務は1時間1,000円、夜間の勤務は1時間1,200円です。ただし、通勤手当は支給されません。

②事業

- ・1回4,000円です。ただし、通勤手当は支給されません。
- ・企画会議は交通費のみの支給となります。

(2) 勤務

①居場所

- ・万代市民会館開館日に、シフトにより割り当てられた人が割り当てられた時間帯（コマ）に勤務します。
 - ※休館日：日、祝日、年末年始、お盆、第4月曜日（祝日の場合は翌日）、その他
- ・時間帯は、午前（9:45～13:45の4時間）、午後（13:30～17:30の4時間）及び夜間（17:15～20:15の3時間）の3コマです。
- ・勤務の人数は、午前は1人、午後と夜間は2人体制です。
 - ※1年を4カ月毎の3期（4月～、8月～、12月～）に分け、さらに3週間（A～C週）を1サイクルとし、1サイクルにつき1～3コマ程度のシフト勤務です。【例】A週：月曜午後、C週：木曜夜間など
- ・欠勤の場合は、他のYAに代理勤務をお願いすることになります。

②事業サポート

- ・企画会議1.5時間、事業4～6.75時間程度の勤務になります。
 - ※事業サポートは、のんびり田舎暮らし体験（年6回）、ユースクッキング（年12回）、にいがたクエスト（年4回）の3事業です。

(3) 研修等

- ・支援活動を評価し、課題解決に向けて意見交換を行ったり、若者支援に関するスキルを高めたりするために2時間程度研修を行います。
 - ※全体会（年4回）、運営委員会（年4回：運営委員のみ）

課題1「受講レポート」について

1 課題

講座No.1～5の5講座の中から選んだ1講座について、その講師から学んだことを具体的に示し、そのことについての自分の考えを400字以内で述べてください。

2 書き方等

- (1) 記入例を参考に、400字詰め原稿用紙を横長縦書きで使用してください。(市販の用紙やダウンロードした用紙も可)
- (2) 手書きの場合、HB以上の濃い鉛筆又は黒のボールペンを使用してください。
- (3) ① 1行目に2マスあけて「課題1」と書く。
その下に「ー(縦棒)」を書き、「選んだ講座No.(数字のみ)」を書く。
② 2行目に「受講者No.(数字のみ)」と「氏名」を記入する。
*名前の下を1マスあける。また、姓と名の間を1マスあける。
*受講者No.(数字のみ)と氏名の間を1マスあける。
③ 3行目から本文を書き始め、本文の初めは1マスあける。

3 提出

令和5年11月2日(木)必着(郵送、FAX、電子メール又は持参)

課題2「修了レポート」について

1 課題

オールの利用者は、様々な課題を抱えていたり、生きづらさを感じたりする若者がほとんどです。このような利用者の自信を高め、社会的自立をサポートするために、あなたは、どのような支援を行っていきますか。今回の講座やこれまでの経験を踏まえ、800字以内で具体的に述べてください。

2 書き方等

- (1)、(2)は課題1「受講レポート」と同じです。
- (3) 1枚目について
① 1行目に2マスあけて「課題2」と書く。
②、③は課題1「受講レポート」と同じです。
- (4) 2枚目について
① 右側の欄外に「受講者No.(数字のみ)」と「氏名」を記入する。

3 提出

令和5年11月10日(金)必着(郵送、FAX、電子メール又は持参)